

第65回ボランティア広場

「市民活動における先進事例から学ぶ団体活動の広め方講座」

～0から車いすマラソンイベントを創出したNPO法人 care nation の事例から学ぶ、企業、行政、仲間のつなげ方～

1. 日 時：令和2年1月25日（土）14時～16時
2. 場 所：かわぐち市民パートナーズステーション会議室1～3
3. 講 師：NPO法人 care nation 代表理事 笠井 直歩 氏
4. 参加者数：23名（団体所属 20名、一般市民 3名）

5. 要 旨：講座とグループワーク（交流）

三郷市に福祉のネットワークを作り、現実を変えたいという思いから団体を立ち上げ、ゼロから車いすマラソンイベント作り上げ、三郷市で初めて開催したイベントの事例から市民活動に役立つポイントについて、ご講義いただきました。多くの人を巻き込んで、事業を成功させるには、何よりも企画者の強い意志と熱意が多くの人を巻き込むのだといったことを学ぶことができました。

（ポイント）

事業を立ち上げるためには・・・ 『強い意志を持つ＝気合』

- ・自分がその事業をなぜやりたいのか、その事業をやることで得られる効果はどのようなものか、目的を明確にする必要がある。しっかりと目的を明確にしなければ、他人を巻き込むことや寄付は集まらない。
- ・事業を立ち上げるために必要な調査をしっかりと行う。わからないことは当事者などに聞き込みに行く。

仲間をつくるためには・・・ 『情報の拡散』

- ・多くの人に自分がやりたい事業を話す、SNSで拡散することなどで、興味を持ってもらう人々を巻き込む。事業の目的を明確にし、文面を読まずに相手に伝えることができなければ、他人も本気で協力はしてくれない。
 - 自分の本気度を示すと周りで一緒に本気になってくれる人が現れる。
 - 日頃から仲間に話をしてしているとキーパーソンとの出会いや、人づてにキーパーソンの紹介につながることもある。
 - 人から人に伝わり、多くの仲間を募ることができる。

予算を集めるには・・・ 『熱意と信用』

- ・クラウドファンディング、協賛金を集める必要がある。
 - 広報が大事。チラシ、SNS、口コミ（キーパーソンをつかむ）
 - 協賛金は飛び込みで実施。大事なものは、熱意と協賛金をもらうための書類の整備。書類がしっかりしていないと熱意が伝わっても団体の信用が得られず、実際の支出にはつながらない。

当日の様子



参加された方々は、真剣なまなざしで講義を聞き、講師との意見交換では、闊達な意見交換が行われておりました。